

## 地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会平成28年度第2回会議記録

- 議 題：1 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成27年度業務実績、財務諸表等  
についての法人からの説明および質疑  
2 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成27年度業務実績、財務諸表等  
についての評価委員会審議  
3 その他

日 時：平成28年7月28日（木）15：00～16：00

場 所：秋田市役所5階 第2委員会室

出席者：【評価委員】鈴木委員、中澤委員、河野委員、佐藤委員  
【病院法人】小松理事長、本間事務局長、糟谷次長、間山総務課長、  
伊東経営企画室長、小林参事、伊藤診療情報室長、  
目黒主事、森田主事  
【事務局】辻福祉保健部長、渡部福祉保健部次長、  
近藤福祉総務課長、眞崎参事、西崎主査、長谷川主事

### 議 事 開 会

事務局

ただいまから平成28年度第2回「地方独立行政法人市立秋田総合病院  
評価委員会」を開会する。  
本日の会議は、野口委員が欠席であるが、本委員会条例に規定する定足  
数を満たしていることを報告する。  
議事については鈴木委員長が進行する。

---

### 【議事(1)】

地方独立行政法人市立秋田総合病院平成27年度業務実績、財務諸  
表等についての法人からの説明および質疑

委員長

それでは、次第にしたがい議事を進行する。  
まずは、本日の議事進行方針を簡単に説明する。  
はじめに法人から、前回の質問で回答を保留していた連番9の企業検診  
を計画の指標とする考えはあるか、連番10の確認テストの内容について  
説明していただき、質疑を行う。  
次に財務諸表等について、修正箇所を法人から説明していただき、質疑  
を行う。  
その後評価委員での審議となるが、自由闊達な意見交換の場とするた  
め、本委員会運営要綱第2条の規定により、議事の(2)評価委員会審議  
については非公開とすることが適当であると考えがいかがか。

委員長	<p>異議がないようなので、議事（２）「地方独立行政法人市立秋田総合病院平成２７年度業務実績、財務諸表等についての評価委員会審議は非公開とする。</p> <p>それでは、議事（１）の「地方独立行政法人市立秋田総合病院平成２７年度業務実績、財務諸表等についての法人からの説明および質疑」を行う。はじめに前回会議での質問等への回答について法人から説明を願う。</p>
法人	<p>企業検診の件数を目標指標に設定するつもりはないかという質問については、各企業では職員の検診を行う病院が毎年ほぼ決まっており、新規開拓は困難であり、件数の大幅な上昇は見込めない。また、当院における人間ドックを含む検診事業に占める企業検診の件数の割合は４％程度であり比較的ウェイトが低いとため、年度計画の目標指標に設定することは考えていない。業務実績として件数を報告書に載せる事は可能であるため、来年度からは企業検診の件数を記載したいと考えている。なお、企業検診とは企業からまとめて受託する検診であり、人間ドックは除いている。</p> <p>医療安全研修の不参加者への確認テストの内容については、配布資料をご覧いただきたい。１枚目は心肺蘇生の研修で、不参加者が６０人おり、不参加者に行った確認テスト。２枚目は院内トラブル発生時の対応についての研修で、不参加者が１３５人おり、不参加者に行った確認テスト。採点して返却しているため、それなりの効果があると考えている。</p>
委員長	<p>それでは質問があれば、各項目に付している連番で指定してから願う。説明があった項目以外からでも結構である。</p>
委員長	<p>無いようなので、次に財務諸表等について、修正箇所があるため、法人から説明を願う。</p>
法人	<p>財務諸表２７ページの次のページの決算報告書について、支出の項目の営業費用の医業費用の給与費に誤りがあり、修正後は５，５４２，２３４，４４７円。一般管理費が２５１，４７４，９４０円。また、事業報告書の２０ページの３の資金計画で「秋田市からの繰越金」を「前事業年度からの繰越金」に修正した。</p>
委員長	<p>それではただいまの修正を踏まえて、財務諸表全体について質問を願う。</p>
委員	<p>決算報告の支出の一般管理費の給与費の備考について、職員の新陳代謝による減となっているが、給与水準の高い職員が退職し、給与水準の低い職員に入れ替わったという意味でよろしいか。</p>
法人	<p>そうである。</p>

主に事務方の給与費であり、秋田市からの派遣職員から病院採用職員への入替えを行っているところである。

委員

今後は、計画的には変動要素となるか。

法人

まだ事務職員として秋田市からの派遣職員がおり、市派遣職員に替えて、相対的に給与の低い職員が採用されれば、下がると考えられる。

委員

将来的に給与費が上がることはないということか。

法人

新規に採用している職員は、比較的まだ若いため、年齢が上がることにより、少しずつ給与費が上がっていくことはあるかと思う。

委員長

最後に項目全体、財務諸表等も含めて質問等あれば願う。

委員

連番12の夕暮れ乳がん検診について、検診日と時間帯を教えてほしい。

法人

6月から3月までの月2回、第1と第3水曜日に行っている。17時から19時までの2時間である。

法人

これまでは医師が2人だったが、1人となったため、予定していた日でも学会等があれば実施していない。

委員

前回、医師が1人体制になったとの説明であったが、医師の増員や日程を変更するなどの予定はあるか。

法人

医師を増員したいところではあるが、医師2人体制の時の1人は前期研修医から後期研修医に上がった研修医であり、秋田大学の大学院に入った。今も乳房をやりたい研修医もいるため、そういった人材を育てていきたい。乳房の専門医は不足しており、派遣してもらうのは難しく自前で育てなくてはならない。基本的には自分たちの病院で育てていきたいと考えており、増やす余地は十分にある。

委員長

受診を申込みされた方をお断りするような状況ではないのか。  
受診希望者は希望日を変更するなどして全員受診できているのか。

法人

できている。

委員

連番38の経営企画・分析力の向上について、前回の質問に対する回答では、原価計算の実施に至らなかったということをご自己評価Ⅲの理由としていたが、計画には原価計算を実施するとはしない。今後の効率化、あるいは

は経営企画・分析力の向上においては、原価計算の実施は必要だと考えての自己評価なのか。

法人 非常に重要なファクターと捉えている。様々な分析をする中でもやはり収益を上げていく一方、どれだけの費用がかかっているかは基本であると思う。把握するのは難しく苦戦しているが、今年度は実施していきたい。

委員長 今年度実施ということは、着々と準備を進めているということか。

法人 昨年度の2月くらいでほぼできあがったと思ったが、結果を見たら使えなかったという状況で、実施には至らなかった。

委員 連番39で医療機能評価機構の受審をされているということだが、外部の評価をどういう形で自分達の業務検証に取り入れているのか。

民間の事業会社が「CS（顧客満足）調査」を行う場合、外の生の声を聞くということを行うが、例えば、なぜ市立病院を選んだのかということを外来、入院等含めリサーチしたことはあるか。市民は市立病院を選ぶのか、他の病院を選ぶのかをいろいろな要素で判断していると思うが、それを意識的に捉えているか。

法人 入院患者満足度調査を年2回、外来患者満足度調査を年1回行っており、その中で市立病院をまた利用したいかという項目や自由に良い点、悪い点を記載いただく項目もある。調査結果は公表するとともに、内部でも周知し改善策を出して、改善に努めているところであるが、この調査により不足している点や良い点などもある程度把握できていると思う。

法人 ご指摘をいただいた点は、非常に大事なことなので今後検討していきたい。国全体で見ると、なぜこの病院かというのは、近いからというのが一番大きい。6割程度が近くて便利な病院を選んでいる。それ以外もあると思うが、うまい聞き方などないか検討したい。

委員 おそらく初診の段階で把握しないと難しいだろう。固有名詞で他の病院の名前などは出しにくいだろうが、聞き方を工夫することで、なんらかの傾向値が見られれば、改善につなげられるファクターが見つけれられると思う。

法人 受診した人、入院した人を対象にした調査では、評価は非常に高い。当院を受診したことのない人を対象とした調査は行っていないので、これから検討したい。

委員 昨年度の全体評価で、法人のマネジメントについて定期的な進捗管理を行うよう改善要望したが、定期的な進捗管理として実施したことはある

か。

法人

年度計画全体の定期的な進捗管理は行っていないが、年度計画に基づいて各部門で策定する部門計画については、10月頃に開かれる各部門の長等で構成される運営会議で進捗状況の確認を行っている。

28年度の年度計画については、全国自治体病院協議会の「医療の質の評価・公表等推進事業」の指標の中から、年度計画の指標としている項目も多数あり、その項目については四半期毎に病院幹部等で構成される管理会議で状況確認をしている。

委員

同じく昨年度の業務実績評価の項目別評価の中で、研修に関する受講者の知識や技術などの習得度を把握し、より効果的な実施に努めるよう要望したが、習得度の把握として実施したことはあるか。

法人

看護部について、クリニカルラダーという看護師としての専門知識、技術を身につけるキャリア開発プランがあり、レベル1、2、3と専門分野の段階別に研修を行いそれぞれのレベルの認定により、習得度の把握をしている。その他では全体の職員を対象とした習得度の把握は行っていないが、心肺蘇生の研修などは、実技研修のため実際に出来るまでやらせているので、習得度の把握をしているともいえる。

委員

テスト等を実施し、チェック、管理等はされているということか。

法人

一部ではあるが、行っている。

法人

研修医に関しては国が決めたチェックリストによりチェックしている。

委員

業務実績調書3ページ目の(2)の財務状況について、「収益に関しては、入院については患者数、収益ともほぼ横ばいであり、また、外来については、患者数が減少したものの診療単価が上昇したことから収益は増加した。」とあるが、外来の診療単価が上昇した要因は何か。

法人

外来患者数が減ると1人当たりの診察時間が増えるため、治療・検査の密度が濃くなり単価が上昇する。

また、外来患者数はなるべく少なくして、入院患者に対する時間を長くすることが国が示す急性期病院の一つの方向である。

委員

外来患者数の減少は、計画で予定内のことなのか。

法人

計画で外来患者数の数値は見込んでいないが、ある程度の減少は、それ程悪いことではない。

委員長	評価項目とは直接には関係ないが、臨床研究に関する国が定めた倫理指針では、理事長は研究機関の長として、規程や体制などを整備しなければならないことになっているが、できているということでしょうか。
法人	臨床研究については、「市立秋田総合病院臨床研究に関する規程」があり、国の指針やガイドラインを遵守するとしている。また、倫理委員会については、当院の倫理委員会要綱において実施方法等を定めている。
委員長	国のガイドラインでは、研究機関の長、つまり理事長が行う業務が非常に多いが、ある程度権限委譲されているのか。
法人	そういうことになる。臨床研究に関しては、ヘルシンキ宣言があるので、それにのっとっている。
委員長	それでは他に質問がないようなので、質疑を終了する。以降は評価委員での審議とする。 (病院法人関係者は退出)
<b>【議事(2)】</b>	<b>地方独立行政法人市立秋田総合病院平成27年度業務実績、財務諸表等 についての評価委員審議</b>
ア	業務実績について ※非公開
イ	財務諸表等について ※非公開
<b>【議事(3)】</b>	<b>その他</b>
委員長	それでは、議事(3)「その他」についてだが、次回会議は評価委員での審議となる。自由闊達な意見交換の場とするため、本委員会運営要綱第2条の規定により、次回委員会での審議については非公開とすることが適当であると考えているがいかがか。
委員長	異議がないようので、第3回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会は非公開とする。 他に何かあるか。 では、事務局からお願いします。
事務局	平成28年度第3回評価委員会の日程については、8月10日(水)午後3時から、今回と同じ第2委員会室で開催する。 次回は、本日ご審議いただいた52の項目別評価をもとに、大項目評価および全体評価の事務局案をご提示したうえでご審議していただく。

今回の議事録については、まとめ次第、電子メールで送付するので、確認を願いたい。

閉 会

事務局

平成28年度第2回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会を終了する。